

グレースケアあじさいの1年

グレースケアあじさいは平成26年12月1日に開設されました。翌年1月のお正月から稼働し始めたため、ちょうど2年目を迎えました。開設当初は分からないことが多く、スタッフ一同よちよち歩きのような頼りない運営でしたが、こうして無事に2年目を迎えることが出来ましたのは、ご利用者を始め、ご家族の皆様、そして地域の皆様のおかげです。本当に、感謝の思いでいっぱいです。

徐々にご利用くださる方も増えて、にぎやかに歌を歌ったり体操をしたり、頭を使ってカードゲームをしたり…毎日楽しく活動しています。春には桜の花見、秋には菊花展観賞と、短い時間ではありましたが、外出行事も実施することが出来ました。また、四季折々の楽しみとして季節ごとの手芸作品を作ったり、夏にはかき氷を楽しんだりもしました。

また新しい1年を迎えるに当たり、『これから、どのように皆様と一緒に過ごしていこうか?』と楽しみに思いを巡らせています。冬は風邪や感染症などの心配もあり、体調管理に気を遣いますが、ご利用者の皆様によく食べて、よく笑って、そして元気に楽しく過ごしていただけるように『力を合わせ、知恵を働かせて頑張ろう!』と、年の初めを前に、スタッフ一同思いを新たにしています。



1月号(210号)
発行日: 2015.12.10

発行



社会福祉法人
誠和

特別養護老人ホーム
あじさいのおか牛窓
サービス向上委員会
発行責任者: 三石哲也

〒701-4301
岡山県瀬戸内市
牛窓町長浜1745-1
TEL 0869-34-6366
FAX 0869-34-6370
seiwa@ajisai-s.or.jp
<http://www.ajisai-s.or.jp/>

頭の体操

デイサービスセンターあじさいでは脳の活性化のため、様々な頭の体操をしています。取り組みの一部を紹介するので、皆様も挑戦してみてください。

Q. 【12画の難読漢字】12月にちなみ、画数が12の難読漢字を集めました。それぞれの漢字の読み方を考えてください。(注意: 送り仮名はありません。1文字で何と読むかを当ててください。)

① 蕤 ② 筏 ③ 棹 ④ 廂 ⑤ 糶

ㄍㄨㄟˋㄘㄨㄞˋ

ㄍㄨㄞˋㄨㄞˋ

ㄘㄨㄞˋ

ㄍㄨㄞˋㄨㄞˋ

ㄘㄨㄞˋ

【ㄘ ㄨㄞˋ】

◎「あじさいのおか後援会」会員募集◎

本会は「社会福祉法人 誠和」及びその基幹施設「あじさいのおか牛窓」の各種活動・行事等を後援することを目的としています。

年会費: 【一般会員】一口 2,000円

*詳しくは、あじさいのおか牛窓(事務部)まで!

◆◆寄付・寄贈御礼(11月)◆◆

辻 秀司様 森川 高博様

ありがとうございました。

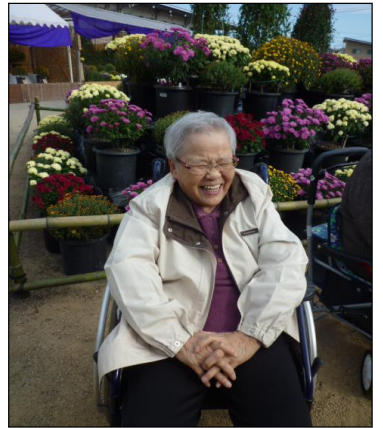
グループホームあじさいの季節行事

グループホームあじさいでは、季節に合わせた行事を企画し、ご入居者の皆様に楽しみのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。

最近ではご家族様にも一緒に参加していただく運動会があり、普段物静かに過ごされている皆様の姿からは想像できないほどの白熱した戦いぶりを拝見することが出来ました。外出行事では長船菊花展に行き、綺麗な菊の花を鑑賞しながら、持参したお茶とお菓子を召し上がっていただきました。皆様、「また来年も来たいね!」と会話も弾みました。

また、『食欲の秋』ということで、外食にも行きました。お気に入りのファミリーレストランで美味しいランチをいただき、その後の買い物では、好みの服やマグカップなどを楽しそうに購入されていました。

12月には餅つきやクリスマス会を行い、お正月にはお屠蘇とおせち料理を用意します。また、ご家族様と一緒に過ごせる新年会も行う予定です。季節行事を取り入れていくことで季節を感じ、昔を懐かしみ、皆様が「楽しい」と思えるような生活を送っていただけるように、これからも工夫していきたいと考えています。



介護のポイント

～自己決定～

介護者（介護を行う人）は、被介護者（介護を必要とする人）が可能な限り『自分のことを自分で決めること（自己決定）ができる』ように支援していくことが大切です。介護者が被介護者の精神的な自立に向けた支援をしていくことで、被介護者が自分の意思で物事を判断・決定し主体的に行動出来るようになり、心身共に健康に、そしてより質の高い生活を送ることに繋がります。

具体的には、被介護者の持つ力を『強化する（＝潜在的能力をさらに引き出せるよう働きかける）』『支える（＝被介護者の意思や意見を尊重し、肯定的にとらえる）』『補う（＝不足している情報などを介護者が補う）』ことが重要です。

最初から難しい選択をすることが困難な場合は、小さなこと・判断しやすいことから決めてもらうようにしましょう。また、なかなか自分では物事を決めることができない場合でも、例えば「この服とあの服、どちらがいい?」「肉と魚、どちらがいい?」などと選択肢を提示すれば、決めやすくなります。ポイントは『（被介護者が）自分で選択・決定をしやすいような環境を作ること』です。

自分が決めたことを実践出来れば、それが喜びや自信になります。それがひいては『自立』につながり、より能動的に、そして活力ある生活を送れるようになるのです。

介護者の皆さん、介護をされる際にはぜひ意識してみてください。



りきこらをとピぎあ動
たに今とも楽のンまっと昨
い、年が充しラグした言
と笑もで実みにチ行し
（三村）と思きした忙おたり、友達
まきよ）います。何事にも前張向
るが、一年を送るが、

待菜 彩野さだ野は数
しをこっ菜しら菜は年無
てよれてがくけは前趣
いろかかく我無で形は庭に味
ますしられが農すが歪が見だ
（豊田）くもて家業が、んでつ
たえ）…おいの野菜、これ虫食
）といす卓!の菜、ま食
期野ををのの、ま食

ましから引い悔ま苦
す。退ですしす手な
いもで涙部。勉は
き陰るが活強を
たいながよう最後は、大
と思サに、は、好
ってサに、は、好
いてサに、は、好
（奥山）あやこ）いてサに、は、好

スタンダード